

復活の丘



第〇〇三号
二〇二六年・春

Contents

- 02 特集 活躍するオペリンナー
- 04 ホームカミングデー2025
- 07 from ALUMNI
- 10 Oberliner Activities
- 11 広げようオペリンナーの輪
- 14 Information
- 16 清水安三先生論説



中学校校舎 立志館



大学校舎 太平館・明々館



告知
賀寿礼拝
ホームカミングデー
10/31[sat]
同日開催

活躍する
オペリンナー

Interview with Oberliner

Oberliner #009

なかむら あつひろ

中村篤弘さん ジェイフロンティア株式会社 代表取締役社長 執行役員 2002年度 文学部 中国語中国文学科卒業

全力で取り組んだことは次につながる
経営者として戦い続ける志と使命感

アジアの架け橋となるグローバル人材として活躍したいと考え、中国にルーツを持つ桜美林が最適な学びの場であると確信して入学を決意しました。在学中は、パラグライダーサークルで部長を務め、部員を増やすためにいろいろなイベントを企画したことを覚えています。また、音楽活動でメジャーデビューを果たし、全力で取り組んだことが後の仕事に生かされるという経験もさせてもらいました。卒業後はドラッグストア勤務を経て、当時eコマース市場が伸びていたこともあり、インターネットの広告代理店に転職し、ヘルスケア関連企業向けのプロモーションや販促支援に従事。2008年に起業し、現在のジェイフロンティア株式会社を設立。2021年2月には医療プラットフォームサービス「SOKUYAKU」アプリをリリースし、ヘルス

テックカンパニーとして、オンラインで診療から処方薬の宅配までを一貫して行う日本初のサービスを開始。同年8月には東証マザーズ（現グロース）市場に上場しました。中文科で学んだ孔子や孟子の儒教の教えは、私の経営哲学の大きな礎になっています。今後も志と使命感を持って事業に向き合い、より良い企業を育て、経営を通して日本を再び世界を牽引する国へ導いていきたいと考えています。



Oberliner #010

もり たけし

森 健志さん ウェインストヨタ神奈川株式会社 営業推進部部长
株式会社横浜ビー・コルセアーズ 社外取締役2002年度 経営政策学部
ビジネスマネジメント学科卒業桜美林で身につけた力で
新たな価値創造と変革に挑戦し続ける

多様な価値観を持つ仲間と学ぶことで成長できる、国際色豊かな環境に大きな魅力を感じて桜美林に進学しました。入学当初は授業に身が入らず、卒業も危ぶまれましたが、2年の途中から加入したパラグライダーサークルで仲間



恵まれ、学生生活が一気に楽しいものになりました。特に、毎週のように通った安い居酒屋で夜遅くまで交わした本音の会話や励まし合いは忘れられません。副部長を経験し、仲間との関わりを通じて培ったチームで協働する力は、現在、自動車ディーラーの営業推進部部长およびプロバスケットボールチームの役員として、部署間を連携し現場とコミュニケーションをとる際のベースになっています。また、限られた状況で判断・行動した経験から身についた決断力も業務推進に生きています。

今後はお客さまにより喜んでいただけるサービスを提供するとともに、社員がやりがいと誇りを持って働ける環境づくりを進めたいと考えています。そのために、既存の枠組みにとらわれず、業務改善や新たな価値創造に挑戦。そして、自社のモビリティおよび地域のサービス事業としての役割を強化し、持続的な成長をもたらす次世代の自動車ディーラーへの変革にも挑戦したいと考えています。

さまざまな業界で活躍するオベリンナーに、在学中の思い出から今後の展望などインタビューしました

Oberliner #011

しまだ ひろゆき

島田博之さん サントリーホールディングス株式会社 スポーツ事業部部長

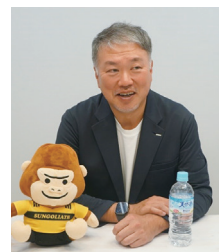
1989年度 高等学校卒業

今の自分の基礎をつくってくれた 桜美林高校野球部で培われた経験

野球少年だった私の夢は甲子園出場、そして優勝でした。桜美林高校は夏の甲子園優勝経験があったこともあり、2度目の全国優勝を、と夢大きく進学しました。入学後すぐに硬式野球部に入部。朝から晩までまさに野球漬けでした。厳しい練習を通じて培われた胆力、決してあきらめない執着心、仲間と共に夢に向かう一体感、と書き出したらキリがないですが、野球部員として過ごした3年間で経験した全てが今の自分の基礎をつくってくれたと思います。

明治大学へ進学後、現在のサントリーホールディングスに就職。さまざまな部署を経て、宣伝部に籍時に東日本大震災が発生。一日も早く笑顔を取り戻せるようにという思いのもと、当時サントリーのCMに出演していた多くの著名人、関係者にご協力いただき、『上を向いて歩こう』『見上

げてごらん夜の星を』を歌いつなぐCMを全国にお届けできたことは会社人生の中でも大きな経験となりました。現在はスポーツ事業部部長として、スポーツ活動を通じたコーポレートブランディングおよびグループの各事業（酒類・食品等）への貢献を目指しています。弊社はスポーツ・文化・芸術活動にも積極的に取り組んでいますので、これらの活動もぜひ体験・体感していただければ、嬉しく思います。



Oberliner #012

みょうじん ふみ あき

明神史晃さん 大阪府警察 特別救助班長

2005年度 文学部 健康心理学科卒業

国内外の災害現場で 被災者の心も救う救助活動を目指して

当時のバレーボール部に憧れの先輩がいたことがきっかけで桜美林に興味を持ち、健康心理=運動機能+心理学という分野を学べる唯一の大学と知ったことが、入学の最大の



決め手となりました。在学中は「足の土踏まず」について研究していました。その研究の一環で、地域の高齢者の方々や子どもたちと触れ合い、社会と関わることが良い経験となりました。また、心理学や生理学といった

健康心理学科の講義を通じて、集中力向上や記憶のメカニズム、技術の向上について脳へのアプローチという面から学ぶことができました。これは一般的な体育学部の目線とは大きく異なり、現在、大阪府警察で特別救助班長として活動する上で自分自身の成長、および部下の指導育成に生かされていると実感しています。東日本大震災では、自然の猛威を見せつけられ、もっと何かできたのではないかと今でも考えます。あの経験を教訓に、人命だけではなく被災者の心をも救う救助活動を目指すようになりました。また、先達から引き継いだ誇りと使命感を若い世代に引き継ぎ、途切れることなく強いチームを維持するのが目標です。そして災害や犯罪で悲しむ人がいない未来を実現したいと考えています。



大学時代の恩師、
阿久根名誉教授と

特集 ホームカミングデー2025

Home Coming Day 2025

2025年10月25日、今年も町田キャンパスの桜李祭と同じ日にホームカミングデーを開催！
卒業生の皆さまのブース出店による物販をはじめ、ケータリングのご提供や抽選会などを行いました。
雨の中、あいにくの天候にもかかわらず、盛況だった様子をご報告いたします。

今年も卒業生のお店が ブースとして大集合！

オペリンナーの皆さまをはじめ、ご家族の方々にも楽しんでいただきました！



Shop 小玉屋 山のあわび販売



小島藍子さん
2006年度卒

2027年で開業100年を迎える、新潟県南魚沼の「ファミリーダイニング小玉屋」。地域の食材、肉厚で稀少な椎茸「魚沼天恵菇」はまさに山のあわび。瓶詰め商品などを販売。



Shop なっとう娘 納豆販売

「くさいものに蓋をしない社会」を目指し、環境問題にも取り組んでいます。当日は各地のご当地納豆を厳選販売。在学中は、グローバルサポーターズでも活躍しました！



鈴木真由子さん
2018年度卒

Shop 勝沼ぶどう郷 小澤果樹園 果実販売ほか



小澤利秀さん
1984年度卒

「勝沼ぶどう郷 小澤果樹園 (Cafe Belle Raisin/果実の見える宿)」の高品質なぶどうと創作デザート数種を販売。桜美林在学中はサッカーに熱中！モットーは唯一無二。



Shop トナカイ 木のおもちゃ販売

「すべては子どもの笑顔のために」の理念を掲げ、輸入玩具と絵本の店を開店。執筆した『心を育てる積み木遊びのコツ』は日米電子書籍36部門で1位を獲得しました。



林 信克さん
1990年度卒

Shop がねえしや 雅稲恵舎 ドレッシング販売



荻草恵子さん
1982年度卒

化学調味料・保存料・砂糖不使用の万能調味料は、安心で便利なのはもちろん、やみつきになるおいしさです。在学中は崇貞寮で暮らし、聖歌隊活動に打ち込みました。





ご来場
ありがとう
ございました!

詳細は
こちらから



Shop GREEN BASE 観葉植物販売

愛媛県松山の人の温かさに惚れ込み、植物インテリア店を開業。「暮らしを、育てる。」をコンセプトに、厳選した観葉植物や暮らしを彩るインテリア雑貨を販売しています。



奥田泰生さん
2018年度卒

Shop per.made アメリカンフラワー販売



三輪知恵子さん
2019年度卒

光を纏うことでキラキラと輝く樹脂製の枯れないお花、「アメリカンフラワー」を販売。大切な瞬間や思い出がいつまでも綺麗に残るよう、心を込めて制作しています。



Shop 東企画室 スパイドリンク販売

「体にいいスパイスを飲み物として手軽に摂りたい」と開発したスパイドリンク「ドリンクカレー」を販売。お湯に溶かして飲むだけでなく調味料として料理にも使えます。



東 美津子さん
1973年度卒



Shop Laughing Jam バルーン販売



三浦綾子さん
2004年度卒

在学中はチャリーディング部で青春を謳歌。バルーン装飾を通して「思い出に残る瞬間」を形にすることを目指しています。ホームカミのワークショップは毎年大好評!



Shop 手塚商店 冷凍漬け魚販売

ユネスコ食文化創造都市・山形県鶴岡市より、銀だらなどの冷凍漬け魚を販売。「庄内浜文化伝道師マイスター」としても活動中。山形支部会へもご参加ください。



手塚太一さん
1982年度卒

Shop 横濱手縫工房 革製品販売



若野一郎さん
1982年度卒

長く使える良いものをつくりたいと、ヌメ革を使った手縫いで制作を始めました。お客さまが使い込んで完成する革製品ですから、修理もおまかせください。



Home Coming Day 2025

ケータリングや体験ブースも大好評でした!

校友会は今後も卒業生の皆さまと母校をつなぐ懸け橋となるよう、活動してまいります。

Food PEDALADA町田

地域No.1カジュアルパーティーのお店を目指し、ディナー・土日祝は貸切パーティーに対応しています。ホームカミでは大人気の牛すじカレーを限定価格でお得に提供。



三井康弘さん
2000年度卒

Drink/Sweets モクシャチャイ



大久保玲夫奈さん
2005年度卒

東京・中目黒のチャイ専門店。現地農園で厳選したインド紅茶や焼き菓子などを販売。本場インドのスパイスミルクティー、チャイの味をぜひお楽しみください。



Food イタリアンダイニング そよ風

こだわりのローストビーフや、ロールサンドウィッチ等、ホームカミだけのメニューを卒業生限定、無料で提供。相模原にて営業中のレストランにもぜひお越しください!



吉野将人さん
2003年度卒



Drink 彩紅茶SAIKOTEA



北野春紅さん
2007年度卒

黒糖タピオカのもちもち感がクセになる美味しさ! パリエーション豊かなタピオカドリンクを提供。桜美林の中文科を卒業して、中国語教師としても活動しています。



Personal color パーソナルカラー診断

東京・六本木のイメージコンサルティング専門サロン「EMMY MIRROR」のパーソナルカラー診断を提供。自分に似合う色を見つけて、人生をもっと楽しいものに!



酒巻絵美梨さん
2013年度卒

Body care ボディケア 施術体験



吉藤翔太郎さん
2017年度卒

「整えて鍛える」本質的な健康の魅力を広げたいと都内を中心に出張トレーナーとして活動中。ホームカミでは「身体の相談室」を開催。ボディケアを提供しました。



2026年のホームカミングデーも町田キャンパス桜李祭と同日開催予定です。

10月31日(土)、皆さまのご来校をお待ちしています!

※詳細未定。変更の可能性あり。

from ALUMNI

大学校友会と中学・高校同窓校友会の活動を報告します

● 大学校友会

2025
12.8-
12.22

学生食堂の利用支援を行いました

物価高騰による学生食堂の価格上昇が続く一方、学生の経済状況は依然として厳しく、食費を抑えるために十分な食事が取れない学生も見られるようになりました。校友会としても学生生活を直接支える取り組みを検討する必要があると考え、在学生の生活支援および母校との連携強化、校友会の認知度向上を目的として、学生食堂利用時に一定の補助を行う「学生食堂利用補助支援事業」を実施しました。仕組みとしては、各キャンパスの食堂利用時に1食あたり300円を校友会が補助する形で、数に上限を設け、お弁当価格や券売機の設定価格の値下げを10日間行いました。学生からは大変好評で「全体的な意欲向上につながります」といった感想が寄せられました。



食堂支援は好評につき、2026年度も継続的な実施を検討しています。

● 中学・高校同窓校友会

2025
10.25
SAT

リ・ユニオン講演会に参加して

去る2025年10月25日(土)13時より、リ・ユニオン講演会が崇貞館6階会議室にて、桜美林大学名誉教授 榎松かほる先生をお招きして開催されました。

テーマは、「もう一人の創立者 清水郁子先生からのメッセージ」でした。郁子先生は、初代の学園長、中学校長、高等学校長を歴任され、創立期の学園の教育を中心になって担い、教員や生徒を指導されました。その基本となった理念はキリスト教

● 中学・高校同窓校友会

2025
9.20
SAT

桜空祭に参加しました



今回の桜空祭では、初めて中学校舎2階の教室をお借りしてお茶の無料サービスと桜美林グッズ販売を行いました。また、教室にはテーブルと椅子を設置し、中高卒業アルバムをご覧いただける休憩場所としました。当初、これまでと場所が変わったことで、皆さまにお越しいただけるか心配していましたが、在校生のご家族や卒業生、入学志望の受験生とご家族など230人を超えるご来場者がありました。

桜美林グッズ販売では、新たに加わった中学・高校の名称入りのボールペンをはじめ、オリジナルグッズを多くの方にご購入いただき、大盛況のうちに終了しました。グッズ販売の売上金は、中高教育環境整備資金に全額寄付いたします。来年も桜空祭への参加を予定しています。ぜひお越しください。

に基づく「男女共学論」です。今回、榎松先生が講演のなかで強調されたのは、公立の中等教育における「機械的な女権拡張の論理」ではなく、「男女各々がその特性、個性を發揮しつつも、相互愛敬、相互協力の実を結ぶこと」ということでした。本講演にて、桜美林学園で学んだ意義を、今あらためて噛みしめる機会をいただきました。ありがとうございました。



大沢則夫／65高校・92大中・96大院卒



● 中学・高校同窓校友会

2025
10.25
SAT

賀寿礼拝を開催しました

今回の賀寿礼拝は大学祭とホームカミングデーとの同日開催となりました。合計116名の卒業生と卒寿を迎えた奥脇信久先生と大石靖子先生、伊藤隆吉先生も出席してくださり、久しぶりの再会で昔話に花が咲き、笑いの絶えない時間を過ごしました。

礼拝後は、桜カフェⅡで昼食を取り、卒業生の出店ブースで買い物をしたり、大学祭に足を運ぶ人もいて、現役学生の活動の様子も見られて盛りだくさんの内容だったという声もいただきました。在学中のキャンパスと現在の園に驚く方もたくさんいらっしゃいましたが、賀寿礼拝に参加するからこそ、昔を懐かしんだり、現在の学園の様子も知ることができますので、これからも多くの卒業生に参加していただきたいと思います。 谷津町子/73高校卒



60 還暦を迎えて

40数年ぶりに訪れた母校のあまりの変貌にしばし言葉を失い、浦島太郎状態でした。私自身は還暦での出席でしたが、7月に行われた83年度卒の同窓会に続いて参加された方も多く、再会の喜びを分かち合いました。礼拝後は桜カフェⅡに移動し、軽食、歓談の場をいただきました。用意されたお食事は予想以上に豪華であり、年がいもなく食べ過ぎてしまったこと、反省しきりであります。大学祭などいろいろ見て回り、帰宅の途へ就きました。 竹内 誠/83高校卒



70 古希を祝って

学園は私たちが在籍していた半世紀前とは打って変わってモダンな建物に様変わりし、案内図を頼りに会場へ向かいました。荊冠堂ではシニアにとっても大変有益なお話を伺い勇気づけられました。桜カフェⅡでは、旧友とテーブルを囲みながら心尽くしの食事を堪能しました。学生時代を振り返ると、当時お世話になった先生方が思い出されます。どの先生も親しみやすく、親身になって教えてくださったことが一番印象に残っています。 細川金男/77大英卒



喜寿に寄せて 77

樽松先生の講演を聴き、郁子先生とのエピソードを思い出しました。中学2年の冬、雪で授業は休講。遊ぶつもりで居残っていると郁子先生に呼ばれ、叱られる、と恐る恐る職員室へ。すると先生がにこやかにダルマストーブの方へ手招きされ、自らお茶を入れてくださいました。何をお話したか覚えていませんが、怖いと思っていた先生の温かく優しくったことを鮮明に記憶しています。卒業後も学園や同窓会と関わりながら今を過ごしています。 久保久子/68短家卒



傘寿を迎えて 80

私が傘寿「八十」になるなんて。そして母校でお祝いの一日を過ごすとは。パイプオルガンが流れ讃美歌を歌ったとき、当時の桜井先生や安三・郁子先生とお話したことも思い出され、式の終わりにスクリーンに当時のアルバムが写し出されたときは、思わず涙が出ました。傘寿の皆さん、元気を出して母校の安三先生の銅像と郁子先生のレリーフに会いに行きませんか。私も次に行けるようにガンバります。そしてオペリンナーを歌いに。 平 久江(武本) /38高校卒



荊冠堂チャペルでの賀寿礼拝と桜カフェIIで行われた懇親会



懐かしい町田の学び舎で、礼拝の敬虔なひとときと再会の交わりに笑顔が溢れました。皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

● 中学・高校同窓校友会

2026
1.12
MON

高校 第75期生
二十歳を祝う会

今年の「二十歳を祝う会」において幹事を務めさせていただき、その準備過程において、懐かしい気持ちでいっぱいになることが何度もありました。チャペルでの祝福礼拝の式次第を作成するにあたり、当日朗読する聖書の箇所や讃美歌の歌詞を書くため、約2年ぶりに聖書と讃美歌集を開きました。ページをめくるたびに、中学・高校時代の記憶が自然とよみがえり、当時を懐かしく思い返しました。一般的には、成人式の準備は1年ほど前から始めることが多いようですが、私たちは3、4か月前からのギリギリの準備となってしまいました。当日が近づくにつれ、不安や焦りを感じる場面もありましたが、幹事同士で支え合いながら準備を進め、最終的には予定通り無事に会を終えることができました。一緒に幹事を務めてくれた、田中さん、小縄さん、美濃部さんの3人には心から感謝しています。私が「大人になった」と感じたのは、成人式当日というよりも、この行事の準備期間でした。準備のために母校・桜美林を訪れる機会が増え、高校時代にお世話になった先生方と打ち合わせや会話を多くいただきました。久しぶりに接する先



生方は、以前とは違い、私たちが一人前の大人として話してくださっているように感じました。その変化に成長を実感すると同時に、少し寂しさを感じる瞬間もありましたが、だからこそ桜美林で学んだ多くのことを大切にしながら、自分の将来に向き合っていきたいと思います。最後になりますが、「二十歳を祝う会」の開催にあたり、多くの面で支えてくださった先生方、ならびに中学・高校同窓校友会の皆さまに心より感謝申し上げます。皆さまのご協力のおかげで、この会を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

実行委員長 土屋遙斗/23高校卒



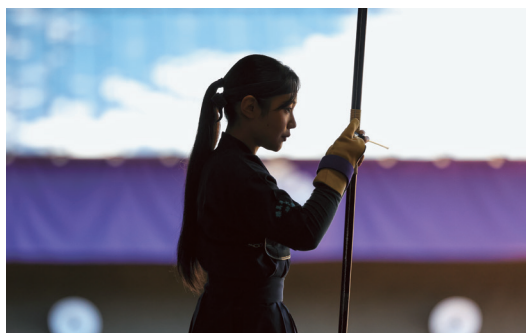
Oberliner Activities

2025年度の現役オベリンナーの活躍をご紹介します



弓道部

- 第73回 全日本学生弓道選手権大会
女子：団体優勝
男子：団体ベスト4



駅伝部

- 第102回 東京箱根間往復大学駅伝競走 予選会
総合23位（合計タイム：10時間52分18秒）

野球部

- 首都大学野球連盟 2部リーグ
春季リーグ戦 優勝（1部との入替戦敗退）
秋季リーグ戦 7位

アメリカンフットボール部

- 関東学生アメリカンフットボール連盟
1部 TOP8 0勝7敗 8位（BIG8との入替戦敗退）

チアリーディング部

- JAPAN CUP 2025 Div.1 大学部門 11位
- 第37回 全日本学生チアリーディング選手権大会
自由演技競技 Div.1 4位

ソングリーディング部

- 全日本チアダンス選手権大会 関東予選大会
JAZZ部門 2位/POM部門 7位

サッカー部

- 東京都大学サッカー連盟 1部リーグ戦
3位（13勝3分6敗）
- 東京カップ 優勝

女子ラクロス部

- 第37回 関東学生ラクロスリーグ戦
4部 Aブロック 3位

女子バレーボール部

- 関東大学バレーボール連盟 1部リーグ
春季リーグ戦 5位
秋季リーグ戦 12位（2部との入替戦勝利）
- 第72回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール
大学女子選手権大会（インカレ） ベスト32

男子バレーボール部

- 関東大学バレーボール連盟 3部リーグ
春季リーグ戦 優勝（2部との入替戦勝利）
- 関東大学バレーボール連盟 2部リーグ
秋季リーグ戦 12位（3部との入替戦敗退）



野球部

- 秋季東京都高等学校野球大会 ベスト4

弓道部

- 山口花菜さん（2年）
東京都個人選手権大会 第7位
関東個人選手権大会 出場

町田青年会議所主催 まちだ防災アワード2025

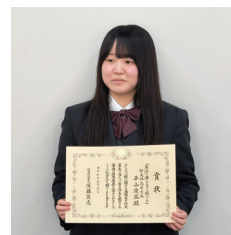
- さくらプロジェクト 最優秀賞 受賞
東日本大震災を機に始まった本校の有志団体・さくらプロジェクトは、被災地域への募金活動やボランティア活動、そして防災学習を続けています。今回



は、ゲームを通して災害時の行動を自分ごととして捉えみんなで考える、町田駅の災害シミュレーションゲーム「町田DIG」が評価され受賞に至りました。

税に関する高校生の作文コンクール

- 平山愛花さん（1年） 税務署長賞 受賞
税への関心を高め、将来の納税者を育成することを目的とした作文コンクールで、平山さんの作文、表題「生活の源を支え続ける」が受賞。町田税務署より表彰されました。税金が植樹のために使われていることを知り、そこに着想を得て書きました。



広げようオベリンナーの輪

全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動の
OBOG会などの活動をお知らせします

● 山形支部

2025
8.23
SAT

第3回 山形支部会に参加しました



当日は遠く大学校友会の方々、群馬支部長もご出席くださり、大変盛り上がった会となりました。第一部では、日本酒サービス研究会^{さきさけ} 唎酒師の百瀬氏から「庄内の酒文化」と題し講演をいただきました。下戸の私ですが、大変興味深く聴きました。第二部の懇親会では、引き続き百瀬氏の日本酒の解説をお伺いしながら、おいしい料理を楽しみました。また皆さんとは、桜美林で過ごした思い出話や近況報告に花が咲き、青春時代に戻ったような楽しい時間を過ごすことができました。最後に皆で学園歌を斉唱し、思い出に残る会となりました。

板垣みゆき / 78短英卒



● 横浜支部

2025
9.6
SAT

第16回 横浜支部会 開催報告

当日は、理事長・学長をはじめ53名をお迎えしての会となりました。一年ぶりの横浜の地、都会の喧噪を満喫していただけたでしょうか。今回初の試みとして、参列者に学園へのドネーションを呼びかけ、その場で理事長へ贈呈しました（またまた横浜が余計なことを…覚悟の上です。その昔のチャペルでの寄付行為を懐かしく思い出された方も…）。贈呈時、理事長が想定外にもズッコケリアクションを披露し会場を大いに沸かせました。桜美林愛に溢れる熱気と「新卒者へのアプローチ挑戦」という課題を未来へ残し、会は閉宴しました。

横浜支部長 田中ひろ子



● 埼玉支部

2025
9.13
SAT

第3回 埼玉支部会に参加しました



9月13日、大宮の中国料理 東天紅にて埼玉支部会が開催されました。参加者は畑山学長、大槻学園理事長、小磯校友会会長をはじめ、26名が集まりました。私は初めての参加でしたが、参加者の皆さんの個性豊かな自己紹介のおかげで、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。この素晴らしい縁を大切にし、埼玉支部がますます盛り上がることを心より祈っています。次回の集まりも楽しみにしています。

松村あすか / 03大文言コミ卒



● 北海道支部

2025
9.27
SAT

第13回 北海道支部会 開催報告

清秋の好日、札幌大通公園を眺望できる「さっぽろテレビ塔」を会場に、北海道支部会を開催しました。当日は大槻理事長、畑山学長、校友会から實川課長、岸委員にお越しいただき、総勢18名の参加となりました。総会の質疑応答では、新規会員誘致に対する貴重な意見が集まりました。また懇親会では、軽快な司会進行の中、北海道支部の歴史を振り返る動画で会場が盛り上がり、参加者からの近況コメントや思い出話など、卒業年度を超えて当時を振り返る楽しい時間となりました。来年度もご参加をお待ちしております。

北海道支部 幹事長 菊地 寛 / 81大英卒





開催報告の全文は
こちらから

● 広島支部

2025
10.4
SAT

第6回 広島支部会に参加しました



「オベリンナー」だけが共通点というのに毎年なんと楽しい会なのでしょうか。一年ぶりに会う相手、顔は覚えていても細かいことはお酒の勢いで忘れてしまっており、私は毎回同じ人と同じ質問をして失笑を買うこともよくあります。こうした楽しい会ができるのも、今の学園に活気があるからだと思います。残念なことに、私がよく利用していた図書館が老朽化のため建て替えが必要と聞きました。将来のオベリンナーが活気ある学園生活を送っていくために、また、楽しい校友会を継続していくために、できる限りの応援をしていきたいと思っています。 吉野弘史/78大英卒



● 宮城支部

2025
10.18
SAT

第7回 宮城支部会に参加しました

2024年8月に宮城県に転居し、仙台での暮らしにもようやく慣れてきたところで、支部会のお知らせをいただきました。宮城県にお住まいの皆さまからどんなお話が聞けるか楽しみに、今回初めて参加し、卒業学部や卒業年度の違う皆さまとお会いし、初めのうちは上手く話にも加われずにおりましたが、お声を掛けていただき、在学当時のお話しをするうちに気が付くと2時間半の時間があっという間に過ぎてしまいました。

これからも地方に住むオベリンナーの方々と、昔話に花を咲かせて末永くお付き合いさせていただければと思います。 内田健一/75高校卒



● 大阪支部

2025
11.8
SAT

第13回 大阪支部会 開催報告



1970年大阪万博から55年。再びこの地で開催された大阪・関西万博、プロ野球阪神タイガースのリーグ優勝など、まだ熱気冷めやらぬ11月の大阪。高層ビル群上に佇む老舗日本料理店で、恒例のモンゴル国大阪名誉領事佐藤紀子氏の講演で、会はスタートした。自己紹介が進行し、卒業後種々経験の上起業した人、専門分野を広げ活躍著しい若者等多士済々の新参加者で、場は学園一色に染まった。これから交流が慣例となって将来、もっと多くの有為者が集う同窓会に発展する空気が見えてくる。そんな予感で終止した。

高野支部長代 安永有喜/73大英卒



● 沖縄支部

2025
11.15
SAT

第20回 沖縄支部会 開催報告

今回20回目の節目となる支部会は、大槻理事長、畑山学長にごあいさつをいただき、山本校友会理事の乾杯の音頭でスタート、その後和やかな歓談へと続きました。会の中盤からは出席者一人一人の自己紹介があり、それぞれのユニークな話しぶりに会場は大いに盛り上がりました。後半には、大学エイサー部創設者である小野間さんを中心に、沖縄の伝統芸能であるエイサーが披露され、当初予定になかったカチャーシーも飛び出しさらに盛り上がりました。そして最後に学園歌を斉唱し記念撮影の後、来年の再開を約束して閉会いたしました。 沖縄支部長 新城昭二/80大経卒



開催報告の全文は
こちらから



● 静岡支部

2025
12.6
SAT

第3回 静岡支部会 開催報告



静岡支部がスタートしました。現時点では特別なものにはなってはいませんが、今までの会合をリスペクトし、より気軽に参加できる会へ進めていければと思います。今回特に感じたのは、参加いただいたオベリンナーの男性のみならず女性の方々も、海外との交流を自らの仕事にまで発展させている素晴らしさ、すごいと思います。そして今の学園の発展、私は想像できませんでしたが、創立者・清水安三先生の目には見えていたのではないかと感じています。また、学園を巣立ったオベリンナーの力も決して小さなものではないと感銘を受けております。 静岡支部長 伊沢正幸/81大商卒



● 四国支部

2025
12.13
SAT

第2回 四国支部会 開催報告

昨年に続いて2回目の四国支部会は、大槻理事長をはじめ4名のご来賓をお迎えして12名での開催となりました。
「食とアートてしまの島」豊島からご参加いただいた元中学・高校教諭の藤崎堅信先生の乾杯で始まり、安三先生との懐かしい話から、若い「学群」卒業生のエネルギッシュな話まで、穏やかな瀬戸内海を眺めながらいろいろな話題に笑顔がはじけました。解散後、学園歌を歌っていないことに気づきました！ 次回にはもっと大勢集まって、「イエス イエス イエス」と叫びたいと思います。四国内外からのご参加をお待ちしています。 筒井彰子/84大中卒



● 同窓会

2025
11.8
SAT

1973年度高校卒業生 古希クラス会



G・H・I組の合同クラス会を町田にて開催しました。総勢52名が集まり大変盛り上がりしました。恩師のG組内山美津夫先生、I組大石靖子先生にもご参加いただき、楽しいひとときを過ごしました。H組武内 弘先生が亡くなられていたのが残念でしたが、きっと草葉の陰で「お前も年取ったなあ」と声を掛けてくださっていたことと思います。半世紀ぶりに会う友も沢山いて、お互い昔の面影を確かめ合い、アツという間の月日の流れに感慨深いものがありました。楽しい時間も瞬く間に過ぎ、最後は元応援団員の指揮で校歌を合唱しお開きとなりました。 中丸弥生/73高校卒



● 同窓会

2025
11.15
SAT

第6回 桜五一会 高校同窓会 開催報告

昭和51年度高校卒業生の同窓会「桜五さくらご一会」を開催しました。私たちの学年は、桜美林高校野球部が夏の全国大会で優勝を果たした当事者世代で、あの喜びと感動は今でも私たちの心に深く刻まれています。西東京予選から頂点まで上り詰め、優勝旗を掲げたあの瞬間は、学園全体が一つになった忘れ得ぬ出来事でした。あの夏に感じた誇りは、今も語り継がれ私たちの原点として力を与え続けています。今回も、締めくくりは恒例の応援エールと校歌斉唱。あの夏の熱狂が一気によみがえり、クライマックスにふさわしいひとときとなりました。 桜五一会会長 岩本茂生/51高校卒





開催報告の全文は
こちらから

● 同窓会

2025
11.22
SAT

1990年度高校卒業生 同窓会 開催報告



ホテルローズガーデン新宿にて開催しました。参加者は同窓生68名、ならびに藤崎堅信先生、三浦雅紀先生、榎本瑞子先生、高橋賢一先生の4名の先生方をお迎えし、計72名の盛会となりました。各先生よりお一人ずつ温かいお言葉を頂戴し、会場は大いに和やかな雰囲気に包まれました。久しぶりに顔を合わせた同窓生同士、瞬く間に高校時代の空気がよみがえり、思い出話に花が咲きました。参加者はA組7名、B組1名、C組10名、D組6名、E組8名、F組7名、G組12名、H組6名、I組9名、留学生2名と幅広く集まり、大変有意義な再会の場となりました。 渡辺圭人/90高校卒



Interview with Oberliner

奥脇先生と桜井先生のインタビュー

学園の卒業生であり、中高教員でもあった奥脇信久先生と桜井 萌先生にインタビューさせていただきました。インタビュー当日はホームカミングデーが開催され、多くの先生にお越しいただいたなかで学園の創成期を知るお二人に学生時代の学園の様子や安三先生・郁子先生のお人柄についてもお話しいただきました。なかなか聞けない当時の様子を右の二次元コードからお読みください。



2025年10月25日以徳館にて。 インタビュアー：大沢則夫

Information

健康福祉学群20周年記念祝賀会を開催します

健康福祉学群の創設20周年を記念した祝賀会を開催いたします。健康福祉学群卒業生、健康福祉学群の前身でもある経営政策学部ビジネスマネジメント学科社会福祉コース、文学部健康心理学科卒業生、および健康福祉にご興味ある方は、下記メールアドレス宛てにご連絡ください。ご参加をお待ちしております。

開催日程：2026年10月31日（土）13時～15時（予定）

会場：桜美林大学町田キャンパス内

参加申し込み連絡先：obirin.hw20th@gmail.com

※会場、プログラム詳細は追って連絡いたします。

Book

リーゼ・マイトナー

核分裂を発見した女性科学者

岩波書店/2,420円（税込）

後世に多大な影響を及ぼす「核分裂の発見」という業績を上げながらも、人種差別や女性差別によってその栄誉を奪われた物理学者の伝記を翻訳しました。コミック風のページもあり、中高生向けに書かれた読みやすい本で、大人にも面白く読んでいただける作品です。物理学はとっつきにくいイメージがありますが、この本の翻訳に取り組んだことで、とても面白い分野であることを知りました。今学園で学んでいるような若い方をはじめ、多くの方々に読んでいただきたいです。 翻訳：中井川玲子/80高校卒



2026-2036
次代のオベリンナーにつなぐバトン。

NEXT 桜美林

バックナンバーは
こちらから



Schedule

2026

※印は各設置校主催

北海道支部会×保護者懇談会 ※合同開催	6月 27日(土)
広島支部会×保護者懇談会 ※合同開催	7月 25日(土)
ビジネス交流会	7月 31日(金)
TAMA祭(多摩キャンパス) ※	8月 8日(土)
横浜支部会	9月 5日(土)
桜空祭(中学・高等学校文化祭) ※	9月 19日(土)・20日(日)
桜日向祭(東京ひなたやまキャンパス) ※	10月 3日(土)・4日(日)
ホームカミングデー	10月 31日(土)
賀寿礼拝	10月 31日(土)
桜李祭(町田キャンパス) ※	10月 31日(土)・11月1日(日)
相模原キャンパス祭 ※	10月 31日(土)・11月1日(日)
沖縄支部会	11月 14日(土)
百桜祭(新宿キャンパス) ※	12月 5日(土)・6日(日)

※ ※印の行事予定の詳細は各設置校のウェブサイトをご確認ください。

個人情報の取り扱いについて

同窓・校友課では個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしております。過去に発行された名簿の保管には十分ご注意ください、第三者への譲渡や販売はお控えください。またDMや電話からその企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局(☎042-797-1632)までお問い合わせください。

ご逝去された方々

卒業生は敬称略

謹んでお祈り申し上げます ()内は逝去年月
鈴木圓子先生 元中高教諭、元同窓会副会長…………… 55高校卒 (25)
藤田紀世志 元職員(入試広報部)、同窓会第6代会長…………… 58短英卒 (25.08)
矢嶋美都子…………… 72大中卒 (25.11)

2026年、桜美林大学は開学60周年を迎えます。さらに2027年には桜美林中学校、2028年には桜美林高校が開校80周年を迎えます。これを機に、老朽化した施設が多くある町田キャンパスを中心に、次代のオペリンナーへの教育・研究環境を整備するための【NEXT桜美林募金事業】をスタートします。詳細は、同封のご案内をご確認ください。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

学園卒業生組織の呼称について

呼称の募集は、2026年2月末をもって締め切らせていただきました。多数のご応募ありがとうございました。2026年4月に学園、大学校友会および中高同窓・校友会の代表から構成される「呼称選定委員会」を設置し、ご応募いただいた呼称案の中から選定いたします。卒業生の皆さまには次号(2026年9月発行)にて決定した呼称をお披露目させていただく予定です。また、同時期に大学校友会、中高同窓・校友会の各ウェブサイトでも発表予定です。今後学園卒業生の全体イベントや刊行物などで使用され、新時代を築く第一歩となる呼称決定をぜひ楽しみにお待ちしております。

編集後記

2024年の中学・高校同窓校友会の発足から一年たち、大学と中高それぞれの卒業生組織が協力のもと、卒業生や現役学生のための活動を行っており、その姿をお伝えすべく『復活の丘』を発行しています。新生『復活の丘』も第三号を迎え、各地域のイベントや実績を皆さまに紹介しています。実際にご参加くださった皆さまはどのような感想をお持ちでしょうか。また誌面を読んだ感想はいかがでしょう。お気付きの点がありましたら、同窓・校友課までお伝えください。誌面に反映していきたいと思っております。また、「活躍するオペリンナー」に掲載する卒業生についても、皆さまからの推薦をお待ちしております。ご協力



をよろしくお願いいたします。
大学校友会 広報副委員長 田邊佳織

桜美林学園 同窓・校友会報誌
復活の丘 No.003 Spring 2026

発行日：2026年3月25日
発行：桜美林学園 事業開発部 同窓・校友課
〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
☎042-797-1632

※掲載されている卒業年は年度表記としております。

清水安三先生論説

基督教世界

昭和二年（一九二七年）一月一日

サマリヤの或女と耶穌

（ヨハネ伝四章一―四二）

時である。さればこそ使徒ペテロは屋根に攀じ上りて真昼間のひと時を瞑想に用いたのである。

ヨハネ伝（ヨハネによる福音書）には劇的な芸術的場面が各章に現れて居る。登場し来る人物には、はつきりせる個性があり、時と所とを書き添えてある等、読者はまざまざと目の当りに見るが如くに耶穌の御生涯を読み得る。わけてもその人物描写が面白い。丸で異なった人物を対稱的に登場せしめてるから、その絵画的（おどけ、たわむれ）な光景は遙に眺めた丈けにても極めて象徴的である。特に第二、第三、第四章の場面は、劇として息づまる程に興味着けられるではないか。美しき華燭の典（結婚式）の最中に現れ出るイエス、老人ニコデモと若人イエスの対話、サマリヤの或女とイエス、よくも好材を得たるものかな。

時は第六時頃とある。（四章六節）すなわち真昼間であった。真昼の静けさは真夜中の静けさと似て居る。同じく身動きひとつ出来ないような静けさを感じる。而かも真夜中の静けさのように無気味ではなく、もの懐しい静けさである。それは一日の半ばを過ぎて、ほっとして愛撫に満ちるひと

編集・小林 茂

この論説は、創立者清水安三先生がかつての学園広報誌『復活の丘』に執筆・掲載したものを、桜美林中学校・高等学校の元チャブレン小林 茂先生（51高校卒）がそのスピリットを伝えるべく読みやすく編集しています。



耶穌「Jesus（ラテン語）の近代中国音訳を日本の字音で読んだもの、イエス」（広辞苑）
旧仮名遣い、本漢字は新仮名遣い、略漢字に改め、難読漢字には読み仮名を振り、適宜句読点を補い、（ ）で説明語、説明文を付記しました。

イエスは今しもこの静かなひと時をスカルの井戸が（の）ほとりに過し給うた。常ならば井戸端は喧しき（さわがしい）ものなるに、この時ばかりはいと静かにて、静けさを愛せるイエスにはこよなき憩の場所であつたに相違ない。

舞台の中央には一条の大路が井戸の側を走っている。ユダヤよりサマリヤを経てガリラヤに至る道だそうなる。背景には二千八百九十何尺かのケリジムの山と三千二十何尺かのエバル山が峯を連ねて聳えて居る。その山麓に村が見える。それがサマリヤ村であるらしい。

今しも井戸を挿みて二人の人物がしみじみと相語つていらつしやる。井戸の左側としようか。そこには女が佇み居る。右側にはイエスが草生の上に腰おろしていらつしやる。女の肉（体）はこぼれるばかりに豊満ではあるが、その強い肉（体）の盛れる心はこれまた恐ろしく疲れているではないか。

これに反して、イエスの肉はもう疲れはてている。積日席を温め給わざるが故である。がしかしその疲れたる肉体はきりつと引き締りて、彼のロダンの傑作デル・デンカー「考える人」の如くに、如何にも哲人らしい。私は多くの聖画耶穌像を物足りなく思う。イエスは決して彼のふうわりした仙人の如き優しい人ではなかつた筈。必ずやロダンの「考える人」の如く労働者そつくりの筋肉たくましき生命のみなぎりのある而かも霊的な肉体の持主であつたと思う。

この俗嗅粉々の女と神々しき男を泉と挿んで相並びをたしめたる所、このエバンゼリスト（福音書の著者、福音史家、ここではヨハネ）の芸術は実に貴い。

井戸は限りなき生命を象徴して居る。この井戸より出ずる泉を飲みし者は、イエスの如く命の人となり、汲まざるものはサマリヤの或女の如くに肉の人となる。何という象徴的な光景であろう。

昔々、湧き水のぞくぞくと湧き出る別荘をもちたる者があつた。易く人の汲みほさを恐れて、井筒の廻りにおおいを作りてつらつら年をへたりける程に、いつしか垣もくち、水もわるくなりて茨おどろおのがさまさまにしげりあい、蛭子子ところ得顔におどりて、ついに人しらぬ野中のむれ井とぞなつて仕舞うたそうなる（一茶おらが春）。井戸位不可思議なるはない。汲めば汲む

程美しき命の水が湧き出ずるものである。信仰もまた井戸の如く、汲み吝みて（けちつて）人に分かたざれば、知らざる裡に、ぼうふらの踊るむれ井戸となる。ぼうふらの踊る間はまだよい。やがては枯れて穿穴（おとしあな）となり、人々をあやまたせ陥入れるに至るから危い。斯く考えて見る時に、井戸と言ひ、人物言ひ、実に象徴的に配置されて居る。

ニイチエは言つた。「汝の立てる所に泉あり」と、我等は我等の立てる所、我等の抱ける心を掘つて掘つて掘り抜けば、そこには滾々として尽きざる生命の泉のあることを知る。

我等はこの象徴的光景を眺めて、種々なる教訓を獲ち得る。

先ず我等は四つの教訓を得ると思う。その第一はイエスがこの場面に於て、男女の間に横わる障壁（仕切り）を超え給うたことである。男と女の間に距離を置くのが、あらゆる人種の古い因習であつた。ユダヤに於てもその例に洩れず、神の宮に在りては、男女所を異にして礼拝していた。

幼年の頃イエスは母に伴われて宮詣せるが、父はイエスが母と共にあるとばかり考へ、母君は父と共に拝めるものと合点せるに、後刻に至つて薩張見当らず捜し当てたれば、幼年イエスは学者と討論をせるのであつた。啻にユダヤに限らず、東洋にては今もそうである。中国の教会堂の如きは、恰も日本の風呂屋の如くに、男女両席は厚い壁に区切られて、牧師は風呂屋の番台に立ち、左には婦人席を眺め、右には男子席を見乍ら、道を説くという具合である。

（次号に続く）